

阿部順子先生の書籍・文献

1. 書籍

共編・監修者	題名	出版社	発行
永井肇	脳外傷者の社会生活を支援するリハビリテーション	中央法規出版	1999
永井肇 蒲澤秀洋	脳外傷者の社会生活を支援するリハビリテーション (実践編) : 事例で学ぶ支援のノウハウ	中央法規出版	2003
仲村正巳 他	新・障害者の心理—障害をもつ人の心の理解とケア	みらい出版	2005
伊藤利之 他	リハビリテーション辞典 「障害認識」 P. 176	中央法規出版	2009
間瀬光人 名古屋リハ	認知機能回復のための訓練指導マニュアル 高次脳機能障害者を支援する	メディカ出版	2009
大曾根寛	現代の福祉政策 担い手の役割と責任 (放送大学大学院教材) 6. 実践から制度・施策への展開 7. 当事者・家族と専門家の役割	放送大学教育振 興会	2010
蒲澤秀洋	高次脳機能障害解体新書	メディカ出版	2011
東川悦子	高次脳機能障害を生きる	ミネルヴァ出版	2015
単独	高次脳機能障害の方に上手に伝わる説明テクニック集	くまな工房社	2013
蒲澤秀洋	チームで支える高次脳機能障害のある人の地域生活 生活版ジョブコーチ手法を活用する自立支援	中央法規出版	2017

2. 論文

共著者	タイトル	学会誌名	記載頁	発刊
単独	職業リハビリテーションにおける長期的援助のあり方	14回日本障害者 職業リハ研究大 会報告書	117-165	1986
単独	頸髄損傷者の一般就労事例報告 —就労への意識づけ—	職業リハ Vol. 1	71-74	1987
単独	就労挫折ケースの社会復帰に向けての心理的援助過程	職業リハ Vol. 2	57-61	1988
長谷川真也 稲木順	重度更生施設における中高年脳血管障害者の就労に向けた要因分析とアプローチ	職業リハ Vol. 5	12-18	1992
桂川孝文 高柳泰二	職業リハサービスにおける評価の継続性に関する考察 —事例の発達課題を通して—	職業リハ Vol. 7	25-32	1994
万歳登茂子 長野友里	重度脳外傷と認知障害 (重度障害者のリハビリテーション<特集>) (—医学的リハビリテーション—家庭復帰への援助)	総合リハ 22	957-960	1994
単独	ある脳外傷者の障害受容過程 —自己イメージの変化を通して—	心理臨床研 13	266-275	1995
本田雅子 加藤朗	脳外傷者の障害特性と職業リハビリテーションアプローチ —社会適応タイプの見極めと環境設定—	職業リハ Vol. 12	7-15	1999

単独	行動・心理社会的・情緒 障害と対応	総合リハ 28	141-145	2000
長谷川真也	脳外傷者の情報処理過程の階層的把握について	職業リハ Vol. 14	17-22	2001
佐藤千賀子	高次脳機能障害者の就労援助の実際	OT ジャーナル 36	297-300	2002
長野友里 阿部亜紀子	認知・行動障害の評価とアプローチ	Med. Reha 25	16-22	2003
単独	職リハのこれまでとこれから ～身体障害とその周辺～	職リハ Vol. 16	29-32	2003
小川鉄男 蒲澤秀洋	目に見えない障害」の医学的評価 (特集 脳外傷の障害評価)	総合リハ 31	107-112	2003
渡邊修	行動障害 高次脳機能障害リハビリテーション実践マニュアル	Med. Reha 増刊号		2006
単独	脳損傷者の社会参加と職業リハビリテーション	リハ医学 43	608-613	2006
長野友里 阿部亜紀子	脳外傷後の高次脳機能障害の回復 — 高次脳機能障害データベースの分析から—	人間環境学研究 2	35-40	2004
単独	脳損傷者の引きこもりとの付き合い方	広島大学大学院 紀要 4	22-30	2005
単独	脳損傷者の社会参加と職業リハビリテーション	リハ医学 43	608-613	2006
単独	心理士が行う認知リハ —名古屋リハの実際から—	高次脳機能研究 26	283-289	2006
単独	各症候に対するリハビリテーションの実際 —行動障害—	MB Med Reha70	127-133	2006
平林一 ら	心理士	総合リハ 35	551-554	2007
松田妙子	脳外傷者の職場定着要因分析 —名古屋市総合リハビリテーションセンター 職能開発課退所者 98 名の分析から—	職業リハ	2-9	2007
単独	高次脳機能障害者への生活支援：実践成年後見 24 【特集】高次脳機能障害者への支援	民事法研究会		2008
単独	「生活場面」でのこれが適切な対応です	精神看護	4-31	2008
単独	社会的行動障害をもつ患者の社会復帰支援	臨床リハ 18	1094-1101	2009
単独	当事者・家族と専門家の役割調査について	JTBIA つうしん 4	7-9	2009
単独	リハビリテーションと臨床心理 高次脳機能障害	総合リハ 38-8	723-728	2010
単独	高次脳機能障害の社会リハビリテーション	リハ連携科学 11	2-10,	2010
単独	高次脳機能障害者の障害認識とその変容過程 —当事者の語りから—	総合リハ 39	273-281	2011
単独	“困った行動”を生じさせる高次脳機能障害の基礎知識	リハビリナース 5	328-334	2012
単独	生活版ジョブコーチ養成の成果と課題 ：当事者団体と連携した取り組み	リハビリテーション連携科学 13	135-140	2012
単独	高次脳機能障害の社会リハビリテーションの現状と課題	リハ研究 156	40-43	2013

単独	高次脳機能障害家族のストレス軽減のプロセス ：ピアサポートに焦点をあてて	岐阜医療科学大 学紀要 9	1-10	2015
単独	重度脳外傷者への生活支援	総合リハ 45	903-908	2017

3. リーフレット

作成	タイトル	発刊
名古屋市総合リハビリテーションセンター 脳外傷リハビリテーション研究会	いっしょにがんばろう！脳外傷とどうつきあうか ～家庭と職場のためのQ&A	1995

4. ホームページ

著者	タイトル	出版社	ホームページ
阿部順子	リハビリテーション心理職 の役割		リハビリテーション心理職会ホームページ, http://www.normanet.ne.jp/~RPA/index2_2.html
阿部順子	高次脳機能障害の方に上手 に伝わる説明テクニック集	くまな工房 社	リハビリテーション心理職会ホームページの top ページよりリンク

5. 名古屋市総合リハビリテーション事業団紀要など

- 名古屋市総合リハビリテーションセンター脳外傷リハビリテーション研究会：
脳外傷のマネージメント ―社会復帰に向けて―. 1995
- 名古屋市総合リハビリテーションセンター脳外傷リハビリテーション研究会：
頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査報告書, 1999
- 名古屋市総合リハビリテーションセンター脳外傷リハビリテーション研究会：
高次脳機能障害の評価基準に関する研究, 2001
- 阿部順子：高次脳機能障害者に対する認知リハビリテーション.
名古屋市高次脳機能障害支援モデル事業報告書（平成 13 年度～15 年度）
名古屋市総合リハビリテーション事業団, 2004, pp. 63-68
- 阿部順子:心理療法. 高次脳機能障害データベース報告書
名古屋市総合リハビリテーション事業団, 2004, pp. 77-99.